

【学校経営】について

- 4つの評価項目については、保護者、職員ともに3.6以上と高い評価でした。昨年度と比較すると、保護者と職員の評価で若干上下はありますが、ほぼ同じ結果でした。
- 今後も本校が地域にとって必要とされる学校であるために、大学との連携を密にしながらい、より良い在り方を求めて具体的な目標を設定し教育活動を展開していきます。

【組織運営】について ※職員のみ回答

- 5つの評価項目については3.0以上でした。
- 「学校は、効果的・効率的に業務が遂行できるように校務分掌を組織している」については、昨年度より0.3ポイント下がっていました。分掌部によって扱う業務内容の範囲に差があると思われます。現状では分掌部を増やすことは難しいため、分掌部によって部員数を調整はしていますが、それだけではなく、外部の人材の活用なども併せて検討していきたいと思ひます。
- 「学校は、計画的に定時退庁日を設定している」については、昨年度から1ポイント上昇しました。月1回の全校一斉定時退庁日と、月2回各職員が設定する定時退庁日について、部主事が積極的に声掛けを行ったことで効果があったと思ひれます。

【危機管理】について

- 4つの評価項目については、保護者の評価が3.4以上、職員の評価は3.2以上でした。
- 昨年度と大きな差はありませんが、「学校は、事故やヒヤリハットが起きた際には情報を共有し、再発防止に努めている」については、保護者の評価が昨年度より0.3ポイント下がっていました。全職員が改めて気持ちを引き締め、職員間の連携の在り方、予防のための環境整備、発生時の速やかな対応の在り方等について再確認を行い実施しています。

【教育活動】について

- 15の評価項目については、保護者の評価が3.2以上、職員の評価は2.9以上でした。
- 保護者の評価では、「学校は、共生社会の実現に向けて、交流及び共同学習を計画し、学校間交流や居住地校交流を適切に実施している」についてが、昨年度より0.4ポイント下がっていました。終息が見られない新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、実施の見通しが付かない現状です。
- 職員の評価では、「学校は、児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階並びに学校や地域の実態等を十分考慮して、適切な教育課程を編成している」「学校は、教育課程に基づいて適切に教育活動を実践している」「学校は、個別の指導計画を作成し、児童生徒の特性などに配慮しながら個に応じた指導を行っている」が昨年度から0.3ポイント上昇していました。これは、教育課程の研究が2年目となり、実践を行う中で手応えが感じられてきた結果であると思ひれます。また、「学校は、「体罰」や「不適切な言動」によらない指導を行っている」については、3.8と高い評価ですが、これは当たり前のことであり、今後も児童生徒の手本であるという自覚を常に忘れないようにしていきます。

【教育環境】について

- 4つの評価項目については、保護者の評価が3.6以上、職員の評価は3.2以上であり、保護者、職員とも昨年度とほぼ同じ結果でした。
- 「学校は、施設・設備の安全点検を定期的実施し、問題点があれば早急に対応している」については、【危機管理】の評価も踏まえて、大学の施設部と連携し随時改善に努めていきます。

【専門性の向上】について ※職員のみ回答

○8つの評価項目については、昨年度より大きく下がったものはなく、同程度以上でした。

○特に「学校は、カリキュラム・マネジメントの確立に向けて調査・研究を行っている」については、0.4ポイント上昇していました。これも、研究の取組に関連していると思われます。言い換えれば、本校の研究は、実践に直接結びついている（現場に生かされている）ものであると言えます。重要なのは、本校の専門性をいかに地域の学校に還元していくかであると考えます。本校の強みは授業の実践力なので、公開研究会だけでなく、日常的な本校の指導の在り方を知ってもらえるような方法はないか検討していきたいと思います。

【開かれた学校】について

○7つの評価項目については、保護者の評価が3.5以上、職員の評価は3.1以上でした。

○「学校は、ホームページや学校だよりを通して、学校の様子を保護者や地域に発信している」については、保護者、職員ともに昨年度の評価より下がっており、特に職員では0.5ポイントと大きく下がりました。更新ができなかったという職員自身の反省が大きく表れている結果だと思えます。本校の存在意義を高めるためにも、新しい情報の発信には心掛けていきます。

○「学校は、連絡帳や電話、一斉メールなどで、必要な情報を素早く保護者に伝えている」については、保護者が3.8、職員が3.7と高い評価でした。今後も保護者との連携を大切にした教育活動を行っていきます。また、一斉メールについては協賛企業のおかげで、緊急時のみならず様々な場面で有効に活用できておりありがたく思っています。